



自転車用ヘルメット帽体

KB-28系

取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL

必ず本書をお読みになり、お読みの後は大切に保管ください。

SGマークの制度について

ヘルメットにつけられているSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり製品安全協会の定めるSG基準に適合していないために着用者が損害を被った場合に、その損害を賠償するものです。なお、プロの選手など特殊な用途に用いている際の負傷や、SG基準が定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷などは賠償の対象になりません。

SGマークに関するお問い合わせ先は、

製品安全協会 ☎(03)5808-3300(代)

〒110-0012

東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2F

株式会社オージーケーカブト

〒577-0016 大阪府東大阪市長田西 6-3-4 TEL 06-6747-8031(代)

ホームページ: www.ogkkabuto.co.jp

Kabuto

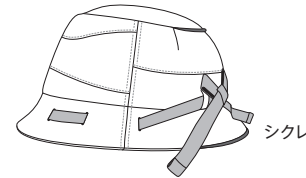
検索

MADE IN CHINA
No.23/HA1-CA1

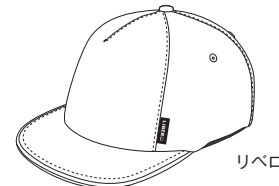
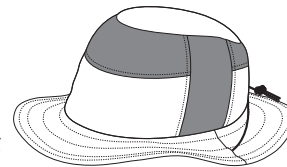
このたびは、当製品をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書はヘルメットの正しい取扱方法について説明しております。

ご使用になる前に必ず最後までお読みください。ヘルメットは、いかなる事故にも絶対という訳ではなく、万一の際に危険の度合いを減らす装備のひとつで、安全の一要素にすぎないという事をご理解のうえ使用していただきますようお願いいたします。



デイス



リペロ

もくじ

ページ

ご使用される前に

ご使用上の注意点	1
ヘルメットの正しいかぶり方	2
あごひもの長さ調整	3
ワンタッチバックル(あごひも留め具)	3

【シクレ】について

4

各部調整、交換方法

あごひもアジャスター(高さ調整具)の調整	4
インナーパッド(内装)の取り付け位置	5
ツバの調整方法	6
帽子(ヘルメットカバー)の取り付け方法	7
別売・補修部品について	8

【デイス】について

9

各部調整、交換方法

あごひもアジャスター(高さ調整具)の調整	9
インナーパッド(内装)の取り付け位置	10
ツバの調整方法	11
帽子(ヘルメットカバー)の取り付け方法	12
別売・補修部品について	13

【リペロ】について

14

各部調整、交換方法

あごひもアジャスター(高さ調整具)の調整	14
インナーパッド(内装)の取り付け位置	15
帽子(ヘルメットカバー)の取り付け方法	16
別売・補修部品について	17

お手入れ・保管などについて

帽子(ヘルメットカバー)の取り扱いについて	18
ヘルメットのお手入れ・保管について	18
SGマークの制度について	裏表紙

ご使用上の注意点

- このヘルメットの用途、及び使用年齢範囲・サイズをお確かめのうえご使用ください。
- 頭のサイズによく合ったヘルメットを選び、また大きさを調整できるものにあっては、それを用いて正しくサイズ調整をおこなってから着用してください。
- ヘルメットを使用する場合は、あみだ(ななめ)かぶりにならないようにかぶり、あごひもを必ず正しく締めてください。
- ヘルメットを着用する前に、あごひもを最適な状態に調整し、しっかり留めてください。調整が不完全ですと万一転倒した際にヘルメットが脱落するおそれがあり大変危険です。
- 夏期の自転車の上やカゴ内、直射日光の当たる車の中や、冬期の暖房のそばなど高温・高熱(50℃以上)になる場所への放置や保管は、ヘルメットの品質低下を招くおそれがありますのでおやめください。
- 一度でも大きな衝撃を受けたヘルメットは、外見に損傷がなくても同じ箇所に再度衝撃が加わりますと衝撃を吸収しきれない事がありますので絶対に使用しないでください。保管場所も落下のおそれのない平らな場所を選びましょう。
- すべての製品に関して弊社では厳重に検査をおこなっておりますが、万一材質や製造上の不完全な商品がありました場合は弊社までご連絡ください。しかしながらヘルメット使用後の返品及び、取扱不注意による損傷品の返品は一切お引き受けいたしておりません。

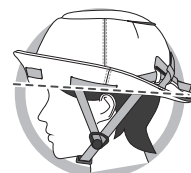
⚠ 警告

- このヘルメットは自転車用であり原動機付自転車及び自動二輪車に乗る場合には使用できません。
- このヘルメットは自転車や走行遊具乗車用に設計されているため、その用途のみでご使用ください。
- 実際にご着用いただき、サイズをよくご確認のうえお買い求めください。

※お子様を着用される場合は、保護者の方が注意事項・正しいヘルメットのかぶり方をよくご理解のうえ、お子様へ使用方法のご指導をお願いいたします。

ヘルメットの正しいかぶり方

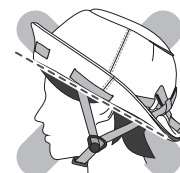
ヘルメットを前後にかけて水平になるようにかぶってください。
このとき、ヘルメットの先端が眉毛のすぐ上にならない場合は正しく装着できていません。



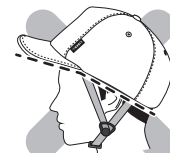
○正しいかぶりかた



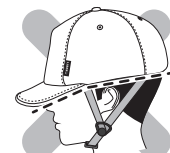
○正しいかぶりかた



×誤ったかぶりかた



×誤ったかぶりかた



×誤ったかぶりかた

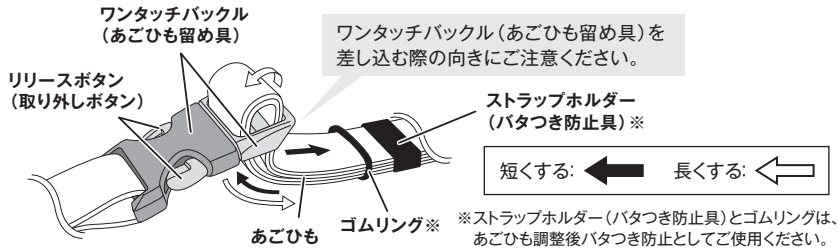
前から後ろにかけて、
水平になるようにかぶります。

⚠ 警告

当製品には「ワンタッチバックル(あごひも留め具)」を採用しておりますが、顔などを挟んでしまわないよう、ご注意をお願いいたします。

あごひもの長さ調整

あごひもはご使用される方の頭に合わせて、長さを調整してください。



警告

- あごひもの先端は安全を考慮し、ワンタッチバックル(あごひも留め具)から外れないように設計しております。あごひも破損の原因となりますので、無理にワンタッチバックル(あごひも留め具)からあごひもを取り外さないでください。
- あごひもの改造などは絶対におこなわないでください。あごひもの強度が低下し、万一のときの保護性能を発揮できなくなるおそれがあります。

あごひもはしっかり締めましょう。

あごひもを締めていなかったり、締め方が緩かったりすると、万一転倒したときなどにヘルメットが脱げてしまい、頭を守る事ができず非常に危険です。あごひもは必ずしっかりお締めください。

ワンタッチバックル(あごひも留め具)

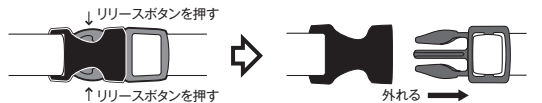
ワンタッチバックルは、頭にしっかりヘルメットを固定するための重要な装置ですので、確実にとめましょう。

ワンタッチバックルのとめ方



ワンタッチバックルの外し方:

リリースボタンを押すと、ワンタッチバックルが外れます。

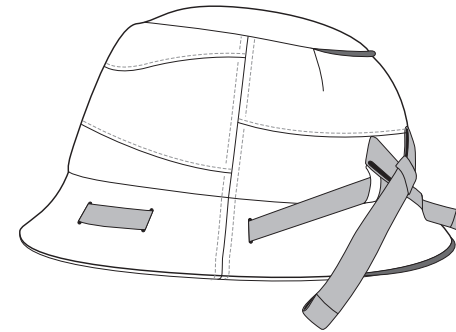


警告

- ワンタッチバックルをとめるときは、お肌を挟まないようご注意ください。顔などケガをするおそれがあります。
- ワンタッチバックルは、必ず最後まで(カチッと音がするまで)きっちり押し込んでください。押し込みが不完全ですと、万一転倒した際にワンタッチバックルが外れてしまい、大変危険です。

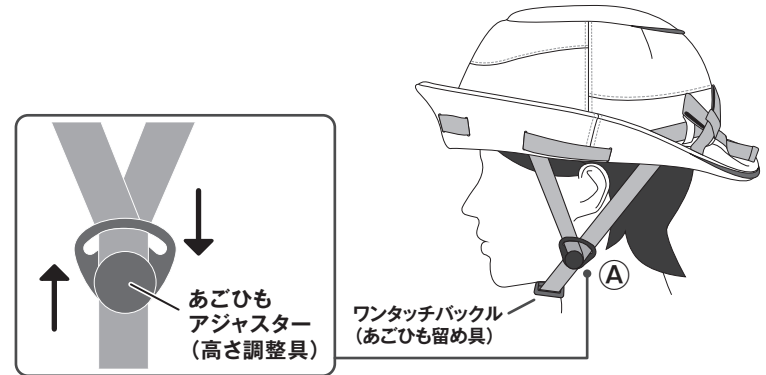
【シクレ】について

SiCURE



○あごひもアジャスター(高さ調整具)の調整

ヘルメットをかぶり、あごひものワンタッチバックル(あごひも留め具)を留め、しっかり顔の側面に合うように「あごひもアジャスター」の高さを調整します。下図①のように耳の下にアジャスターがあることを確認し、耳の部分が緩い、またはきつい場合は「あごひもアジャスター」を移動させて高さを調整します。



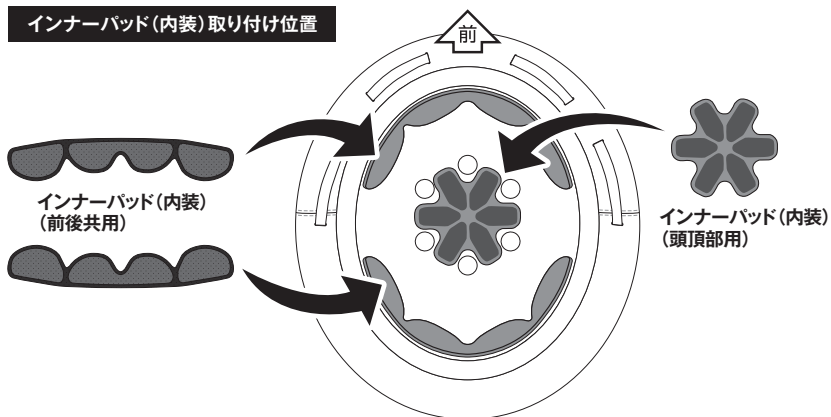
頭にあったサイズのヘルメットをご使用ください。

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは、頭を締めつけ痛くなる可能性もあるので、頭によく合ったヘルメットをお使いください。

○インナーパッド(内装)の取り付け位置

当モデルには標準装着パッド(6mm厚)と、同梱品パッド(12mm厚)の2種類のパッドがございます。標準装着パッド(6mm厚)でヘルメットのかぶり心地がゆるい場合は、同梱品パッド(12mm厚)に交換することで、よりフィット感を高めることができます。

下図の位置にパッドを押しつけて貼り付けてください。

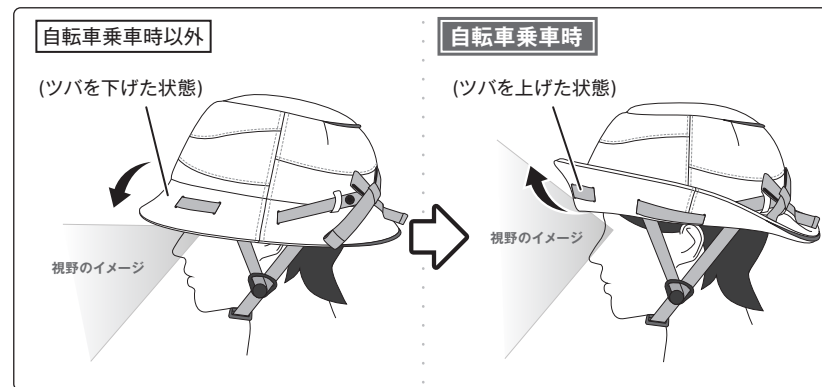


❗ 注意

インナーパッドを取り外す際は、取り付け部が剥がれるおそれがあるのでゆっくり押さえながら外してください。

○ツバの調整方法

当ヘルメットは、自転車乗車時以外は帽子のツバを下げた状態で使用いただけますが、自転車乗車時は、視界の妨げにならないよう、**必ずツバを上げてご使用ください。**



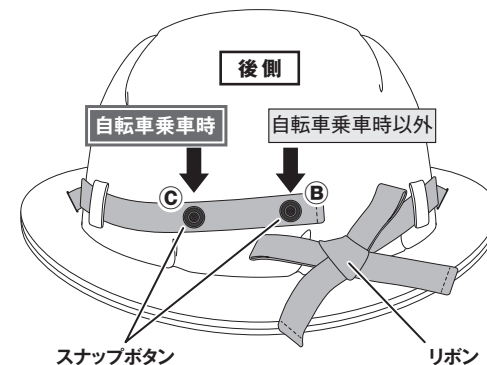
使用用途(自転車乗車時以外、自転車乗車時)に合わせて、後頭部のリボンに固定されている、2箇所のスナップボタンでツバの調整をおこなってください。

自転車乗車時の調整方法

リボンのスナップボタンから取り外し、ツバを上げた状態にして◎位置のスナップボタンにリボンを固定します。

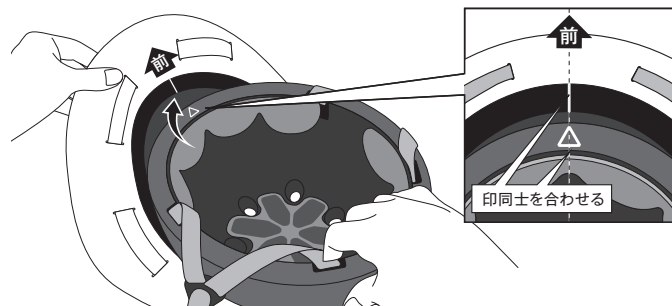
自転車乗車時以外の調整方法

リボンのスナップボタンから取り外し、ツバを下げた状態にして◎位置のスナップボタンにリボンを固定します。

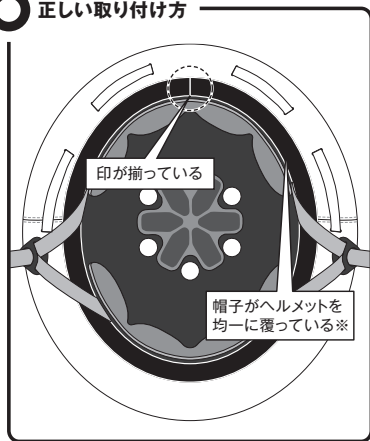


○ 帽子(ヘルメットカバー)の取り付け方法

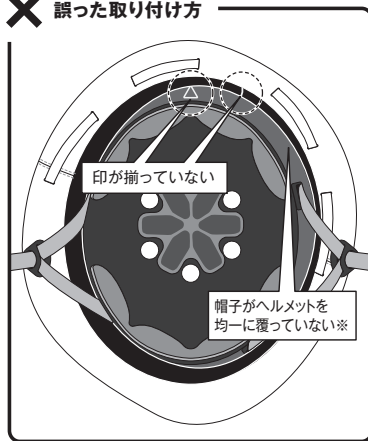
帽子をヘルメットに装着する場合は、帽子の | の縫製印とヘルメットの △ の印を合わせるように入れ込んでください。



○ 正しい取り付け方



✕ 誤った取り付け方



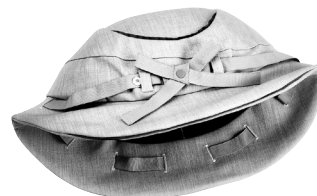
※ 帽子のフチがヘルメットをしっかり覆うように取り付けてください。

① 注意

- 当社が指定する帽子(ヘルメットカバー)※とヘルメットの組み合わせのみ着用が可能です。
- ヘルメット、専用帽子を改造しないでください。(刺繍、ワッペン、その他装飾品の取り付け等)

※ 指定の帽子(ヘルメットカバー)については、次ページの別売・補修部品をご確認ください。

○ 別売・補修部品について



帽子(ヘルメットカバー)【HA-1】

カラー：各色
サイズ：54~57cm未満

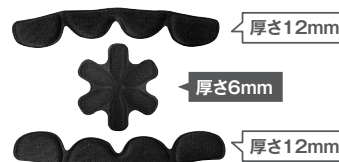
※シクレ/デイズ/リベロは同じサイズであれば、専用帽子を付け替えて使用することが可能です。

※ご注文の際はサイズにご注意ください。
【54~57cm未満】、【57~60cm未満】があります。



インナーパッドセット18：厚さ6mm

お買い上げになったヘルメットに標準装備されている厚さのインナーパッドです。



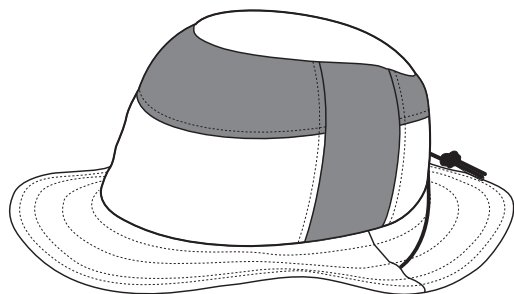
インナーパッドセット18：厚さ12mm

標準装備のインナーパッドよりも分厚い仕様。かぶり心地がゆるい場合は当パーツに変更することでよりフィット感を高めることができます。

当モデルは、補修部品をご用意しております。補修部品は、当製品をお買い上げになった販売店にてお問い合わせください。詳しくは販売店にお問い合わせいただくか、弊社ホームページもしくはカタログをご覧ください。

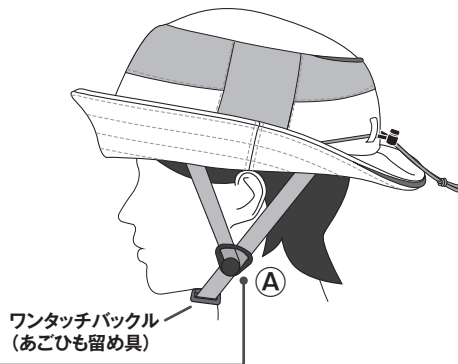
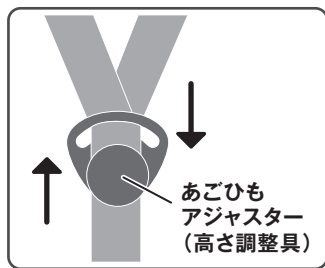
Kabuto

検索



○あごひもアジャスター（高さ調整具）の調整

ヘルメットをかぶり、あごひものワンタッチバックル（あごひも留め具）を留め、しっかり顔の側面に合うように「あごひもアジャスター」の高さを調整します。右図Aのように耳の下にアジャスターがあることを確認し、耳の部分が緩い、またはきつい場合は「あごひもアジャスター」を移動させて高さを調整します。



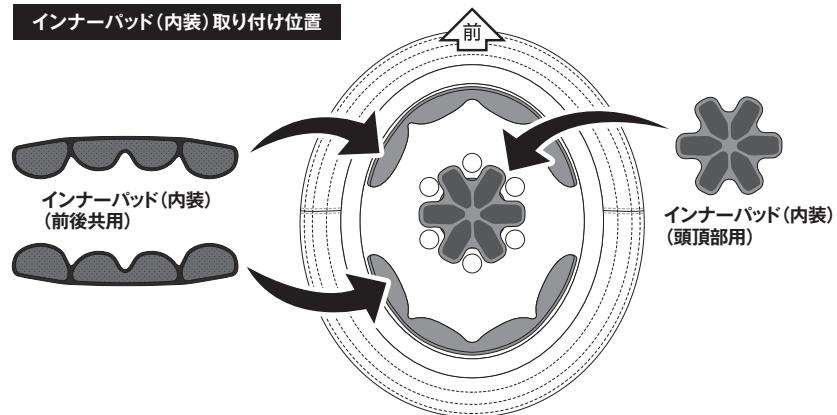
頭にあったサイズのヘルメットをご使用ください。

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは、頭を締めつけ痛くなる可能性もあるので、頭によく合ったヘルメットをお使いください。

○インナーパッド（内装）の取り付け位置

当モデルには標準装着パッド（6mm厚）と、同梱品パッド（12mm厚）の2種類のパッドがございます。標準装着パッド（6mm厚）でヘルメットのかぶり心地がゆるい場合は、同梱品パッド（12mm厚）に交換することで、よりフィット感を高めることができます。

下図の位置にパッドを押しつけて貼り付けてください。



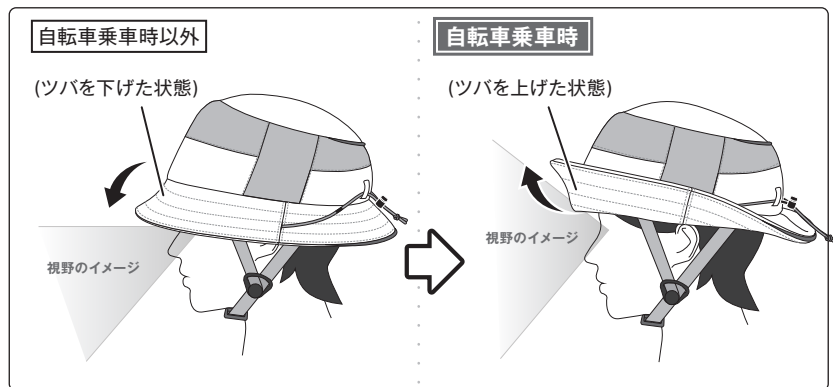
❗ 注意

インナーパッドを取り外す際は、取り付け部が剥がれるおそれがあるのでゆっくり押さえながら外してください。

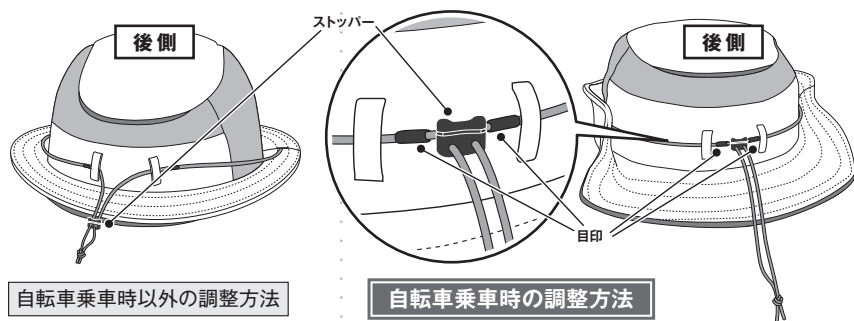
【デイズ】について

○ツバの調整方法

当ヘルメットは、自転車乗車時以外は帽子のツバを下げた状態で使用いただけますが、自転車乗車時は、視界の妨げにならないよう、**必ずツバを上げてご使用ください。**



使用用途(自転車乗車時以外、自転車乗車時)に合わせて、後頭部の紐の固定位置を調整し、ツバの角度の調整をおこなってください。

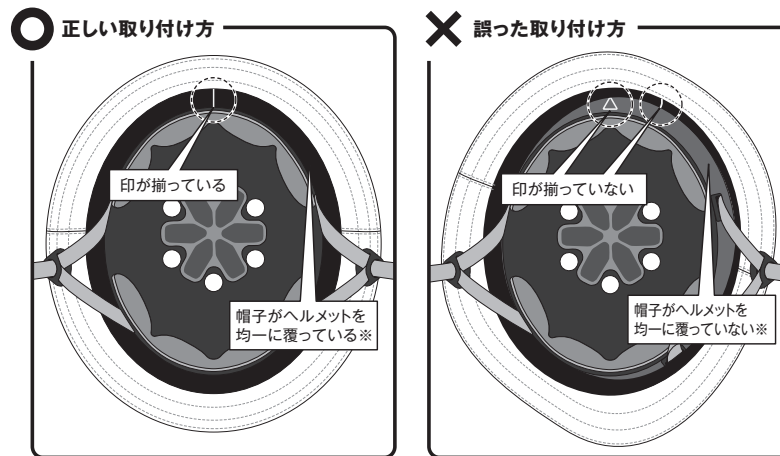


ツバを下げた状態にし、紐に取付されているストッパーをお好きな位置で固定してください。

ツバを上げた状態にしてから、左右の紐をひっぱりストッパーを目印まで移動させてロックします。ストッパーはボタンを押すと移動でき放すとロックします。

○帽子(ヘルメットカバー)の取り付け方法

帽子をヘルメットに装着する場合は、帽子の | の縫製印とヘルメットの △ の印を合わせるように入れ込んでください。



※帽子のフチがヘルメットをしっかり覆うように取り付けてください。

① 注意

- 当社が指定する帽子(ヘルメットカバー)※とヘルメットの組み合わせのみ着用が可能です。
- ヘルメット、専用帽子を改造しないでください。(刺繍、ワッペン、その他装飾品の取り付け等)

※指定の帽子(ヘルメットカバー)については、次ページの別売・補修部品をご確認ください。

○別売・補修部品について

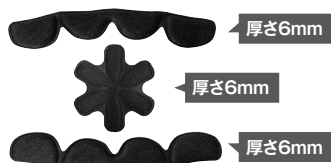


帽子(ヘルメットカバー)【HA-2】

カラー：各色
サイズ：54~57cm未満

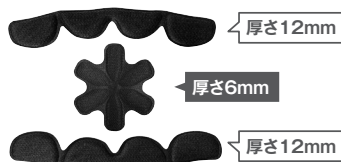
※シクレ/デイズ/リベロは同じサイズであれば、専用帽子を付け替えて使用することが可能です。

※ご注文の際はサイズにご注意ください。
【54~57cm未満】、【57~60cm未満】があります。



インナーパッドセット18：厚さ6mm

お買い上げになったヘルメットに標準装備されている厚さのインナーパッドです。

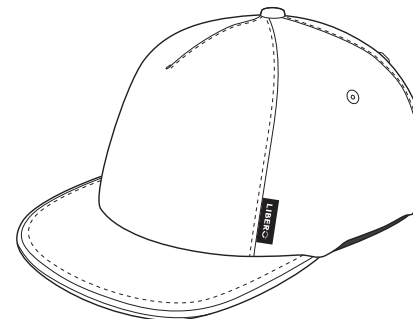


インナーパッドセット18：厚さ12mm

標準装備のインナーパッドよりも分厚い仕様。
かぶり心地がゆるい場合は当パーツに変更することでよりフィット感を高めることができます。

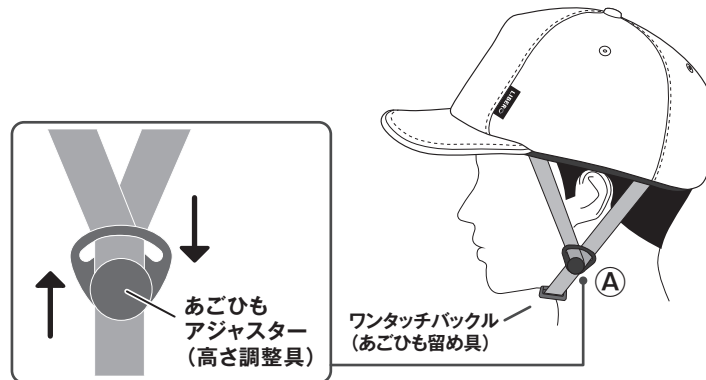
当モデルは、補修部品をご用意しております。補修部品は、当製品をお買い上げになった販売店にてお買い求めください。
詳しくは販売店にお問い合わせいただくか、弊社ホームページもしくはカタログをご覧ください。

検索



○あごひもアジャスター(高さ調整具)の調整

ヘルメットをかぶり、あごひものワンタッチバックル(あごひも留め具)を留め、しっかり顔の側面に合うように「あごひもアジャスター」の高さを調整します。下図①のように耳の下にアジャスターがあることを確認し、耳の部分が緩い、またはきつい場合は「あごひもアジャスター」を移動させて高さを調整します。



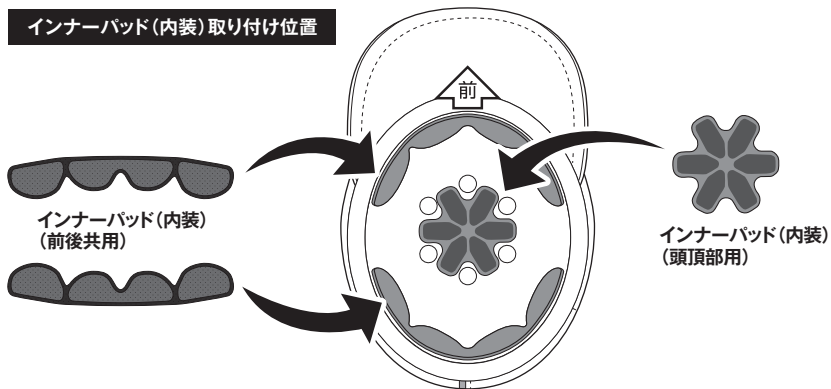
頭にあったサイズのヘルメットをご使用ください。

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは、頭を締めつけ痛くなる可能性もあるので、頭によく合ったヘルメットをお使いください。

○ インナーパッド(内装)の取り付け位置

当モデルには標準装着パッド(6mm厚)と、同梱品パッド(12mm厚)の2種類のパッドがございます。標準装着パッド(6mm厚)でヘルメットのかぶり心地がゆるい場合は、同梱品パッド(12mm厚)に交換することで、よりフィット感を高めることができます。

下図の位置にパッドを押しつけて貼り付けてください。

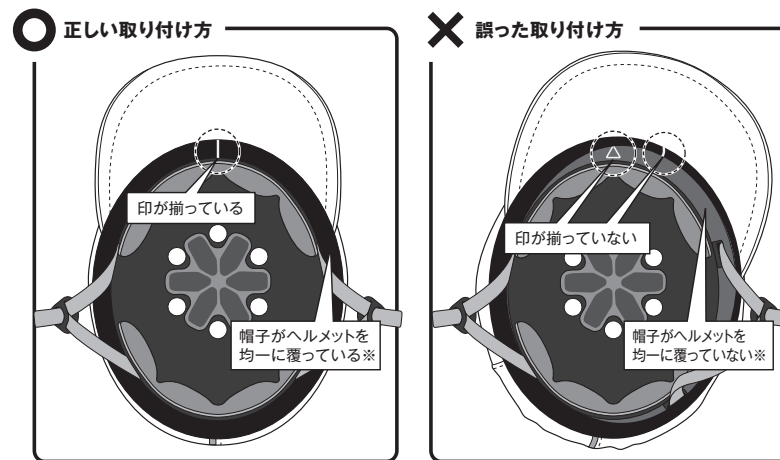
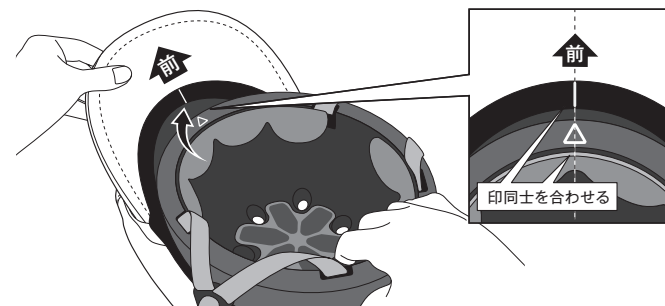


❗ 注意

インナーパッドを取り外す際は、取り付け部が剥がれるおそれがあるのでゆっくり押さえながら外してください。

○ 帽子(ヘルメットカバー)の取り付け方法

帽子をヘルメットに装着する場合は、帽子の | の縫製印とヘルメットの △ の印を合わせるように入れ込んでください。



※帽子のフチがヘルメットをしっかり覆うように取り付けてください。

❗ 注意

- 当社が指定する帽子(ヘルメットカバー)※とヘルメットの組み合わせのみ着用が可能です。
- ヘルメット、専用帽子を改造しないでください。(刺繍、ワッペン、その他装飾品の取り付け等)

※指定の帽子(ヘルメットカバー)については、次ページの別売・補修部品をご確認ください。

○別売・補修部品について

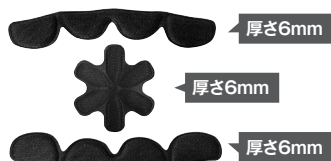


帽子(ヘルメットカバー)【CA-1】

カラー：各色
サイズ：54~57cm未満

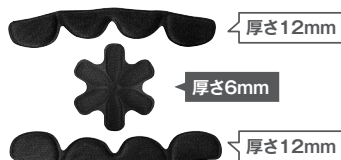
※シクレ/デイズ/リペロは同じサイズであれば、専用帽子を付け替えて使用することが可能です。

※ご注文の際はサイズにご注意ください。
【54~57cm未満】、【57~60cm未満】があります。



インナーパッドセット18：厚さ6mm

お買い上げになったヘルメットに標準装備されている厚さのインナーパッドです。



インナーパッドセット18：厚さ12mm

標準装備のインナーパッドよりも分厚い仕様。
かぶり心地がゆるい場合は当パーツに変更することでよりフィット感を高めることができます。

当モデルは、補修部品をご用意しております。補修部品は、当製品をお買い上げになった販売店にてお買い求めください。
詳しくは販売店にお問い合わせいただくか、弊社ホームページもしくはカタログをご覧ください。

○帽子(ヘルメットカバー)の取り扱いについて

- 火気及び熱源又は高温になる場所に近づけたり放置しないでください。
- ベンジン・シンナー・ガソリンなどの有機溶剤を使用したもので拭かないでください。
- 洗濯に関しては、帽子カバーに取り付けられている洗濯表示をご確認ください。
- 湿気やカビが付きやすい場所での保管は避けてください。
- 帽子カバーは撥水などの加工はされておりません。雨や雪・水に濡れてしまうと色褪せや生地が縮みが起きる可能性があります。
- 濡れた際は乾いた柔らかい布で軽く押すようにしてよく水分を取り、通気性の良い場所で保管してください。

○ヘルメットのお手入れ・保管について

- 外装・あごひもは、水または中性洗剤を薄めてふき取ってください。
- 取り外しできる内装は汚れた際に洗うことができます。内装を洗う場合は、水もしくはぬるま湯(35℃以下)に、ごく少量の洗髪用シャンプーもしくは家庭用中性洗剤を入れ、やさしく手もみ洗いをおこなってからよくすすいでください。洗い終わったら乾いた布などで水気をやさしく取り除き、直射日光の当たらない風通しのよい場所で陰干しをおこなってください。
- ベンジン・シンナー・ガソリンなどの有機溶剤などを使用しての洗浄や、ヘルメットの改造・塗り替え等はヘルメットの材質や内装材などが冒され、品質の低下を招くことがありますのでおやめください。また、高温・高熱(50℃以上)の場所への放置や保管も避けてください。ヘルメットは正しく、ていねいに扱いたましましょう。
- 接着剤などの有機溶剤は一切使用しないでください。溶剤がヘルメットの材質を冒し、ヘルメット本来の性能が発揮されなくなるおそれがあります。
- 雨や雪などでヘルメットが濡れてしまった場合、そのまま放置せず乾いた布でふき取ってから陰干しをおこない、しっかり乾燥してから保管するようにしましょう。
- ヘルメットの有効期限は、「購入後3年間」です。正常に使って異常が認められなくても、ご購入後3年以内に買い換えをおすすめします。